



英語科O先生のネコ沼

よもやよもやである。

この私が猫沼にはまるとは…。

元来私は犬派だった。いつでも尻尾を振って、100%の愛情を私に向けてくれる犬。なんと愛すべき存在！一方、ネコは「おいで」といっても来やしない。とりあえず一瞥はくれども、マイペースで、冷たいイメージ…、であった。

しかし、ひょんなことから昨年11月に子猫をもらい受け、それ以来、私の猫に対する気持ちは180度変わった…。なんと可愛い、愛すべき存在なのだ。

前述の通り、猫は変わらずマイペースだし、名前を呼んでも来ない…。しかも、ほとんど寝てる。家の中で飼うから、猫の抜け毛も気になる。なのに、共に生活してみると、マイペースなその一挙手一投足が、にゃんともきやわいい（もはや「可愛い」ではない）のである♥。抜け毛もたくさん。以前の自分なら発狂しそうであるが、もはやあまり気ににやらない。

動物と一緒に寝る！⇒論外！と思っていた。でも、あの温かい柔らかい小さな体が、眠っている私の背中に、いつの間にやら、ぴったりと寄り添って気持ち良さそうに寝ている姿を見たら、もう、それだけで、十分にやのである♥。

R.O.